

記録的な大雪に対する緊急要望

平成29年2月24日
中国地方知事会

記録的な大雪に対する緊急要望

今冬の記録的な大雪により、中国地方では人的被害や建物の倒壊が生じた上、主要幹線道路等において、長時間にわたる渋滞や通行止めが発生するとともに、公共交通に多数の運休や大幅な遅延が生じた。

また、農林水産業用施設で甚大な被害が発生しただけでなく、漁船の沈没・転覆等により、農林水産業生産に深刻な影響を及ぼすなど、各方面で多くの被害が生じている。

については、この度の記録的な大雪に対して速やかに支援措置等が講じられるよう、次の項目について強く求める。

1 大雪被害に係る特別交付税の措置について

この度の大雪により、道路等の除雪、伐倒木等の除去作業、漁船の引き揚げに加え、今後も農作物等の被害が拡大する可能性が高いことから、各県及び各市町村で行う緊急対応及び復興対策経費に係る特別交付税の措置について格別の配慮をすること。

2 被災した農林水産業用施設等の復旧支援について

園芸用ビニールハウスや製材所の倒壊及び漁船の沈没・転覆など甚大な規模の農林水産被害が発生していることから、早期復旧を図るための財政的支援を行うこと。

特に、今回の大雪被害について「被災農業者向け経営体育成支援事業」を適用するとともに、当該事業について、国の補助率を1/2に引き上げるほか、被災した施設・機械の解体、撤去及び処分等を助成対象とすること。

3 除雪費用の追加配分について

今後の降雪に対応し、安定した冬期交通を確保するため、平成28年度除雪費用の重点的な追加配分を行うこと。

4 降雪に強い高速道路ネットワークの構築について

降雪による長時間の通行止めや大規模な渋滞発生を回避するため、各道路管理者間の連携などによるソフト対策の強化や高規格幹線道路における暫定2車線区間の早期の4車線化及び付加車線の整備により、強靱な高速道路ネットワークを構築すること。

5 地域の除雪業務の担い手確保について

公共事業削減による建設業者の減少やオペレーターの高齢化、さらには除雪機械の維持費の負担増などにより、除雪（地域維持事業）の担い手不足が深刻化しており、今後の持続的かつ効率的な対応が困難な状況となっているため、担い手確保に向けた取り組みへの支援を強化すること。

平成29年2月24日

中国地方知事会

鳥取県知事	平井伸治
島根県知事	溝口善兵衛
岡山県知事	伊原木隆太
広島県知事	湯崎英彦
山口県知事	村岡嗣政